

## 絆キャンプで大事にしたいこと： 食べる事を通しての学び 食事作りに参加して！

京都上賀茂教会 イエニック原田

今年の絆キャンプは8月7日～14日の1週間、京都市北区の上賀茂教会を会場として開催されました。昨年は、調理ボランティアとして2日間だけのお手伝いでしたが、今回はキッチンを使い慣れている教会員と言うことで、メニュー作りと調理スタッフとしての参加となり、福島からの子どもたち15人と学生ボランティア、調理スタッフなど合わせて常時30人弱の食事作りを3、4人で担当しました。普段作り慣れていない人数のため、1ヶ月位前からメニュー作りに取りかかり、キャンプで保養にくるであろう子どもたちのことを想像しながら、メニューの見直しを幾度となく繰り返していました。

キャンプ初日、子どもたちの元気な第一声を聞きながら、調理スタッフとしての責任の重さを実感したことを覚えています。今回のキャンプは、(株)安全農産供給センターから提供された無農薬・添加物なしの食材を使い、調理する者、食する者には大変恵まれた食環境だったと思います。

調理室の壁に貼っていたメニュー表を、毎回、背伸びしてチェックしに来る女の子や、じっと眺めている高学年の男の子など、今でもその姿が目に見えに来て微笑ましく嬉しい気持ちにさせられます。好き嫌いはあるものの、特に苦情を言うこともなく、おいしかった時には、おかわりや、言葉で表現してくれたり、毎日の食事を楽しみにしてくれていたようでした。

お手伝いに来られないからと、手作りお菓子、スイカ、梨、桃、ブドウ、ブルーベリーなどの果物、アイスクャンディ、ジュース、お惣菜など、多くの方からの差し入れは、日々をより豊かなものにしてくれました。

お料理上手なEさんは、メニューにぴったりの常備菜をたくさん用意して下さって本当に助かりました。

今回の食事作りを通して、子どもたちとのふれあい、学生・社会人ボランティア、調理スタッフの多くの方々の協力の中、意義ある充実した1週間で過ごすことができ本当に感謝です。

福島の子どもたちにとって、「上賀茂の夏休みが楽しい思い出！」となっていることを願います。

